

## 平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	栗田 利一
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	3522
事務事業名	8945 街なみ施設管理事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080405 土木費・都市計画費・まちづくり推進費					
	事業	020000 街なみ施設管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
ふれあい館まゆぐらでは、県内外からの観光客や住民同士の交流が促進される。ふれあい館しらふじでは、市内のグループやサークルの活動の場として市民の交流が促進される。				街なみ環境整備事業で整備した地区施設、生活環境施設を地域のまちづくりの推進協議会及び地域の団体に管理を一部委託し、観光客や市民、住民同士の交流を図る。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ふれあい館まゆぐら、しらふじの施設管理、企画展の開催等	ふれあい館まゆぐら、しらふじの施設管理、企画展の開催等
平成29年度 予定	平成30年度 予定
ふれあい館まゆぐら、しらふじの施設管理、企画展の開催等	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		3,245	3,063
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,245	3,063
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.4	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,443.8	1,443.8
	嘱託職員	1,102.0	826.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,545.8	2,270.3
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,790.8	5,333.3

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,289	消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、光熱水費、修繕料
13節 委託費	1,761	施設管理業務委託料、シルバー人材センター委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	195	電話料、消防設備保守点検手数料、手数料、清掃用具借上料

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,068	消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、光熱水費、修繕料
13節 委託費	1,771	施設管理業務委託料、シルバー人材センター委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	224	電話料、消防設備保守点検手数料、手数料、清掃用具借上料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	須坂の歴史・文化を継承するため歴史的建造物（ふれあい館まゆぐら・しらふじ）の保存活用が必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	歴史的建造物を活用したおもてなし、企画展、貸し館事業は市民だけでなく県外から観光客からも好評を得ている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	事業費の縮減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
施設の適切な維持管理を行い、歴史的建造物の活用を図った。

